



統合レポート2018
投資家の皆さまへ

INTEGRATED REPORT 2018

企業理念

KDDI グループは、
全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
お客さまの期待を超える感動をお届けすることにより、
豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献します。



「KDDIフィロソフィ」の実践による 持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現

KDDIは、社会インフラを担う情報通信事業者として、24時間365日いかなる状況でも、安定した通信サービスを提供し続けるという重要な社会的使命を担っています。また、情報通信事業は、電波などの国民共有の貴重な財産をお借りすることで成り立っており、社会が抱えるさまざまな課題について、情報通信事業を通じて解決していく社会的責任があると認識しています。この社会的使命・社会的責任を果たすためには、持続的な成長と中長期的な企業価値向上が必要不可欠であり、お客さま・株主さま・取引先さま・従業員・地域社会など、KDDIを取り巻くすべてのステークホルダーとの対話、共創を通じて社会的課題に積極的に取り組むことで、安心・安全でかつ豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献していきたいと考えています。また、KDDIは、社是・企業理念に加えて、役員・従業員が共有すべき考え方・価値観・行動規範として「KDDIフィロソフィ」を制定し、グループ全体での浸透活動を推進しています。「KDDIフィロソフィ」の実践を、会社経営上の基本として積極的に取り組むことにより、KDDIは、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現していきます。

編集方針：財務情報・非財務情報の開示について

本統合レポートは、The International Integrated Reporting Council (IIRC: 国際統合報告評議会)をはじめとした複数のガイドライン・フレームワークに基づき、投資家の皆さまが特に必要とされる基礎情報・財務データ・経営戦略・ESG情報を抽出して掲載しています。環境・社会側面の非財務情報を拡充した「サステナビリティレポート2018」をはじめ、本統合レポートに掲載していないサステナビリティ・研究開発情報などについては、当社のWEBサイトをご参照ください。

なお、当社は、2016年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。本冊子において、明確な記載がないものについては、2014年3月期までは日本基準、2015年3月期以降はIFRSに準拠した表示としています。

目次

- 02 連結業績ハイライト
- 06 マネジメントメッセージ
- 14 KDDIの価値の源泉
- 16 KDDIの価値創造サイクル
- 18 特集：人財確保・人財育成
- 20 サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の見直し
- 22 事業活動とサステナビリティのつながり

財務情報など



WEB 投資家情報 (IR)

- ・有価証券報告書
- ・決算短信
- ・コーポレート・ガバナンス
- ・事業等のリスク

<http://www.kddi.com/corporate/ir/>

非財務情報



WEB サステナビリティ

<http://www.kddi.com/corporate/csr/>



WEB 研究開発 (R&D)

<http://www.kddi.com/corporate/r-and-d/>

持続的な成長の基盤 サステナビリティ

23

- 24 KDDIのサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）
- 30 役員
- 32 コーポレート・ガバナンス
- 37 コンプライアンス／リスクマネジメント・内部統制
- 38 情報開示とIR

Performance Section

39

- 40 国内市場とKDDI
- 44 市場データ
- 45 2018年3月期の連結業績報告・分析
- 48 2018年3月期のセグメント別業績報告・分析／活動報告
- 54 連結財務諸表
- 59 会社概要／株式の状況

将来見通しの記述について

このレポートに記載されているKDDIの将来に関する計画・戦略・確信・期待などのうち過去の事実以外のものは、将来の業績に関する見通しの記述であり、不確実性を含んでいるため、実際の結果と異なる場合もあります。潜在的な不確実性を含むものとしては、KDDIまたはKDDIのグループ会社が取引する、海外の国々における景気および為替レート、特に米ドルに影響するものやユーロなどさまざまな外貨に関するもの、KDDIおよびグループ会社が「急速な技術革新と新サービスの安定供給ならびに厳しい価格競争で特徴づけられた」通信市場において、新たな顧客を獲得するための、発展的かつ魅力あるサービスを提供し続ける能力などがあげられます。